

利用時間と謝礼の基準

依頼会員…市内に在住・在勤・在学で生後57日目～小学6年生までのお子様の保護者の方
 提供会員…市内に在住の20歳以上の方で、心身共に健康で積極的に援助活動ができる方
 両方会員…依頼会員、提供会員両方を兼ねる方
 産前産後会員…市内に在住し家事・育児などが出来る家族がいない妊娠届出以降の妊婦～産後56日
 (多胎児の場合は6か月)までの方 利用時間は午前9:00～午後6:00までです。

	利用時間	謝礼額(子ども1人当たり)
平日 (月～金曜日)	6:00～7:00	1時間あたり 900円
	7:00～19:00	1時間あたり 700円
	19:00～22:00	1時間あたり 900円
土日祝 年末年始(12/29～1/3)	6:00～22:00	1時間あたり 900円

ひとり親等ファミサポ利用料の助成があります。
 (所得制限あり・詳細は市役所こども保育課へ ☎043-484-6415)
 車で送迎の場合には、1kmにつき30円の交通費が別途必要となります。
 自動車保険…車の事故についてはセンターが加入している「移動サービス専用自動車保険」にて対応します。
 補償保険制度…援助活動中の方がの事故については「地域子育て補償保険」にて対応します。
 (どちらも保険料はセンターが負担します。)

サポート時の感染症対策について

1. サポート前の検温・体調確認
 2. 手洗いの徹底
 3. 手指消毒
 4. 換気(車内も含む)
 5. 支援日誌に体調確認を記入
- ★ご自身を守るためにマスク着用は効果的です。

★ご家族のかたも含め、感染症発生及び学級閉鎖などの際にはサポートはできません。予めご了承ください。



うかいてあらい マスク

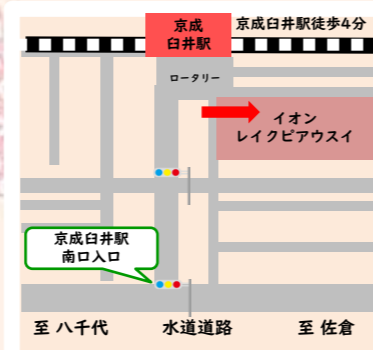
編集後記



暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃。ご卒業、ご卒園を迎えるみなさま、おめでとうございます。おこさまの進級、ご自身の復職や異動に伴い、生活スタイルが変わるかたも多いのではないのでしょうか。新生活が軌道に乗るまでは、思い通りにいかないこともあると思います。でも子育てやお仕事に一生懸命向き合っていれば、いつか明るい光が差し込んできます。みなさんの努力や心の中の思い悩む気持ち、迷い、痛みを理解し、ふわりと救ってくれる人が必ずいます。サポーターさんと共に子育て世帯の味方である、そんなファミサポでありたいと思っています。こどもたちの笑顔のために、みなさんの頑張りが大きな実を結びますように・・・

佐倉市ファミリー・サポート・センター 受託団体 NPO法人ワーカーズコープ

住所 〒285-0837 佐倉市王子台1-23
 レイクピアウス3階(イオン白井店)
 電話 043-488-1270
 FAX 043-497-6722
 開所時間 月～金 午前9時～17時
 休業日 土日祝・年末年始
 E-mail famisapo@sakura.roukyou.gr.jp
 HP http://sakura.roukyou.gr.jp/famisapo



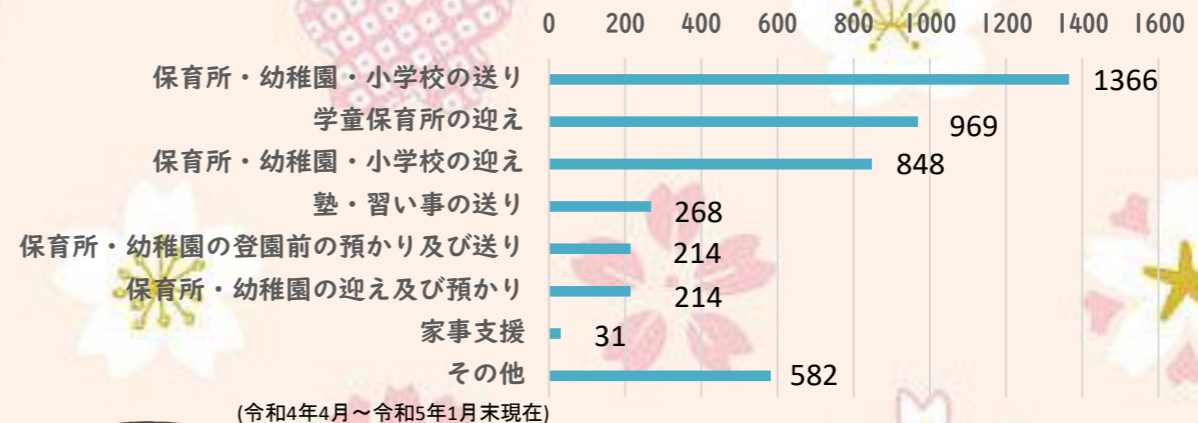
ファミサポ通信

令和5年3月発行 No.36

依頼会員のみなさまへのお願い

- 1 ファミサポは「仕事」ではありません。
 会員同士の助け合い「相互援助活動」「有償ボランティア」です。
- 2 定期的なサポートについても必ず週または月初めなど決まり次第、センターへご連絡ください。
 サポート前に依頼報告がないと保険が適用されません！
 お子さまの名前・依頼日時・内容をお知らせください。
- 3 キャンセルの場合は、サポーターとセンターにすみやかに連絡してください。
- 4 謝礼の支払いはサポートの都度お支払いいただくことが原則です。
 両会員同意のもと1か月分まとめた支払いは可能ですが、2.3か月分まとめた請求または支払いはできません。

会員数と活動状況 (令和5年1月末現在)



会員数	
依頼会員	1033
提供会員	171
両方会員	23
計	1227

佐倉市ファミリー・サポート・センターとは？

佐倉市の子育て支援事業であり、子育てを地域でお手伝いする相互援助の組織です。

ファミリーサポートセンターは、地域において、「子育てのお手伝いをしたい」「子育ての手助けをしてほしい」人達が会員となり、会員同士で相互に援助活動を行うものです。お気軽にご相談ください。電話 043-488-1270



変更について

現在ご利用いただいているかたでお迎え先が変わるおこさまは必ずセンターへ、ご一報ください。

改めてお顔合わせが必要な場合があります。

自動退会について

ファミサポの会員規定により小学校までのおこさまが依頼会員の対象となっております。

R5.3月におこさまが卒業された会員さんは自動的に「退会」の手続きを取らせていただくこととなります。

サポーター交流会

HUG・避難所運営ゲームを行いました。

それぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また起こり得る様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。現在活動中のサポーターさんを中心に、実際にサポートしている間に被災してしまったら・・・と言うことも念頭に話し合いながら、進めました。



30名、県外の旅行者が来ました！同じ教室にしましょう。

依頼会員のみなさまへ

サポーターさんへ感謝の気持ちを学校で素敵な製作にしてくれたYちゃん。

3人、それぞれの似顔絵もありYちゃんの「いつもありがとう」の優しい気持ちが伝わってきました。サポーターさんも大喜び♪嬉しい報告でした。

今度はサポーターとして活動してみませんか？

小学6年生未満の弟や妹がいる等の理由から退会を希望されないかたまたは、提供会員として活動を継続していただけるかたはセンターまでご連絡ください。

サポーターのみなさまへ

研修会・栄養士 R4.12.16



サポート中に、エビペン対応を行うことはありませんが、アナフィラキシーがあらわれたときの補助治療剤対応として学びました。

研修会・保育士 R5.2.17



トイレトペーパーの芯ペットボトルのキャップ割りばしを使って作ったよ♪

研修がお済みでないかたは、引き続きご受講をお願いいたします。令和5年度の日程表をご確認の上、センターへご予約ください。

★ファミサポのHPからも、ご確認いただけます。



区分4・救命救急、区分5・安全・事故・産前産後支援はフォローアップ研修をお願いしています。研修を終えてから、5年を経過しているかたは、ぜひご受講ください。

ご入会について 登録料、年会費は無料です。



WEB入会説明会



確認フォーム

現在、コロナ感染拡大防止の一環として、集団での入会説明会は行っておりません。WEB入会、来所入会をご利用ください。来所入会を希望される方は事前にWEB・電話でのご予約が必要となります。

★来所入会持ち物・・・身分を証明できるもの(免許証、保険証、マイナンバーカード等)



小動物がいるかたはペットがいる同士一緒にの教室はどうかしら？

家屋が全壊、半壊一部倒壊なのかをまず確認して！

小さなおこさまがいる家庭は同じ教室でどうだろう...



小動物以外は体育館や教室はダメだね...車内に一緒にいるか、校庭かな。

医療従事者には体育館に入ってもらい発熱以外の体調不良者を診てもらおうか。

外国人は同じ教室へ配置することで、言葉の壁と不安を払拭できるかも？!

講師・サポーター友崎彰さん

「HUG」には正解が無い。いろいろな考えかたがあり、違って良い。私も体験しましたが、実際の現場は、本当に惨状です。みんなの事を構う余裕が無くなります。余震が続く中、冷静に迅速な対応と思うがなかなかできるものではない。そのための練習なのです。基本的なことを知っている人がいるのといないのでは、運営の仕方がかなり違います。今回のことをぜひ万が一の際に活かして欲しい。



校庭には、ヘリコプターが降りるスペースを確保！



体育館のステージは今後配布される物資置き場とするため必ず空けておくことだったね。

体験後の感想

・避難所の重要性を改めて確認でき良かった。
・ゲームでもなかなか進まなかった。実際は余震が続く中だ。もっと大変だろうと思う。
・全体として把握することの重要さの観点が無かったため、とても勉強になった。
・一人ひとりの考えかたの違いを感じた。
・ファミサポのサポーターだからなのか、みなさんの「助け合いたい」と言う想いや安心感を感じた。
・地区ごとに班を分けてあったため、ご近所のサポーターさんと顔見知りになる良い機会となった。



家屋全壊ですね。体育館へお願いします。

